

平成31年度 東久留米市立南町小学校 学校経営計画

法規に定められた教育の目的・目標を受け、東京都・東久留米市の教育目標に即し、児童が生涯にわたって主体的に学ぶ力を付けるため、豊かな人間性と、心身の調和のとれた児童の育成を目指す。

学校教育目標

- ◎ よく考える子
- 心の豊かな子
- じょうぶな子

【具体的な姿】

- ・新しい課題にすすんでかかわり、自ら考えたり、判断したりして解決することができる子。
- ・集団の一員としての自覚をもち、思いやりや優しさなど人間性豊かな心をもつ子
- ・心身の健康や安全に努め、粘り強く頑張ることができる子

I 学校経営の基本方針

学校教育目標の達成のために、学校の目指す姿を以下のように明確にし、教職員、保護者、地域が一体となった学校づくりをすすめていく。

目指す児童像

「認め合い、支え合い、高め合いながら、
主体的に行動する子供」

目指す学校像

「子供たちが安心して通うことができ、
魅力ある授業がたくさんある学校」

目指す教師像

- 子供たちに愛情をもって接することができる教師
- 学び続ける教師
- 組織として共に協力する教師

II 学校経営の具体的な方針

「人間関係を深め、主体的に行動できる児童の育成」を研究主題とした2年間の研究の成果を着実に定着させる1年に！

1 確かな学力の育成

- ・OJTの積極的な活用による授業力の向上。
- ・外部機関と連携した理科教育の推進。
- ・東京方式習熟度別ガイドラインに沿った指導。
- ・学級活動の適正な実施。(学級経営の充実)
- ・外国語・外国語活動のレessonプランに沿った適正な実施。
- ・授業規律の確立。
- ・「家庭学習の手引き」の活用と家庭との連携。

2 生命尊重・人権尊重の精神の育成

- ・生命を大切にし、いじめや体罰、差別や偏見のない学校・学級づくり。
- ・全教育活動を通じて、互いに認め合い、尊重し合う人間関係づくり。
- ・誰もが安心して生活できる環境づくり、規範意識の向上と集団としての学びやルールの徹底。
- ・植物や動物と触れ合う機会の拡充。

3 豊かな心の育成

- ・異年齢集団による活動を通して社会性や連帯性を育成するとともに、高学年にはリーダーとしての自覚の育成。
- ・特別支援学級と通常学級の交流及び共同学習を通して、障害に対する理解を深め、「共に生きる」仲間としての意識の育成。
- ・関わりを重視した道徳授業の充実。

4 生活指導の充実

- ・生活指導夕会、生活指導全体会、学年会での教員間の情報交換と児童理解。
- ・教育相談的な手法を重視し、生活指導全体会や特別支援教育コーディネーターやSC等を活用した、組織的・計画的な生活指導の実施。
- ・いじめ、不登校、問題行動、生活指導上の課題に対しての外部機関との連携。
- ・南町10箇条の徹底。

5 健康な心と体の育成

- ・オリンピック・パラリンピック教育の推進。(I'm possibleの活用)
- ・クラス遊びなどによる外遊びの奨励。
- ・体力テストの結果から体力向上のための児童の主体的な活動を促す取組の企画・実施。
- ・禁煙キャラバン、薬物乱用防止教室、歯科校医による口腔衛生指導の実施。

6 学校・保護者・地域との連携

- ・青少年健全育成協議会等が主催する行事への教職員の積極的参加。
- ・学校公開、道徳授業地区公開講座や学年・学級・保健通信の計画的な発行、HP等の活用。
- ・学校評議員による第三者評価、保護者アンケートを活用した学校改善。
- ・保護者・外部人材等のカリキュラムへの積極的な活用。

☆ 保護者や地域の学校への信頼があって教育活動が成り立つことを肝に銘じ、教育公務員としての自覚をもち、サービスの厳正に務める。特に、体罰、不適切な指導、セクハラ、個人情報の管理については、年複数回計画的にサービス事故防止研修会を実施し、教職員の意識を高め未然防止に努める。